

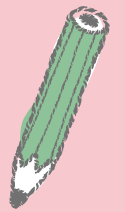
vol.60 アイアム

LOGO DESIGN by Aimi Kawagoe



孫と一緒に!
こころとからだのキャッチボール

令和元年度 男女共同参画・
子ども家庭センター実施講座



夫婦で楽しもう!初めてのDIY!



子育てバカレッジ
お父さんと作る春の和菓子

輝く未来のパートナー・プラン
～仕事と生活の調和、意識の醸成～

女と男の今昔ものがたり

TRY & LOOK

基本目標Ⅱ 仕事と生活の調和が図られた社会の実現に向けた取組の一例を紹介します

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成の取組の一例を紹介します

「家事・育児シェア」見える化シートの活用 (第2弾!)

福井は女性の就業率や共働き率が高い一方で、男性の家事・育児・介護にかかる時間は女性に比べて極端に短く、家庭における女性の負担が大きい状況です。そこで、普段の生活の中で、パートナーの家事や育児等への取組状況を把握し、話し合いから理想の家事・育児シェアを見つけるための「見える化シート」の活用を進めています。

見える化シート活用例

夫がしている家事・育児...○
妻がしている家事・育児...●

【現状】

夫婦で納得! 「家事・育児シェア」見える化シート

チェック! (現状を把握しよう)

【話し合い】

夫婦で納得! 「家事・育児シェア」見える化シート

チャレンジ! (理想のシェアを見つけよう)

【実践!】



男女共同参画に向けた意識啓発教材「夢への招待状」

福井市では、男女が性別に関わらず個性や能力を生かし、あらゆる分野で活躍できる男女共同参画社会を目指しています。

「夢への招待状」は、市内で働く男女それぞれの仕事への想いや働く姿を映像にまとめ、小中学生に対して「将来の夢」を自由にイメージできるように作成しました。



夢への招待状の概要

市内で働く男女が、自身の仕事内容や仕事に就いたきっかけ、やりがい、小中学生に向けたメッセージ等をインタビュー形式で語っています。



【DVD】男女各10名、合計20名が出演

山内 真理子
37歳
福井テレビ開発
TVディレクター

1. 氏名・職業

トラクター 田中真由美

2. 導入(仕事の一部)

家具屋/岩崎敬太

3. 仕事内容

プログラマー

4. 今の仕事に就いたきっかけ

建設現場

5. 仕事への想い、やりがい

小・中学校で色んなものを見てほしい

6. 小中学生に向けたメッセージ

見える化シートを活用した講座

【夫婦・家族向け】(下記講座の中で開催)

- 8月25日(日) 夫婦で楽しもう! 初めてのD.I.Y!
- 11月10日(日) 家族で楽しく手打ちうどん ~パパもママも一緒にチャレンジ~
- 1月19日(日) 子育てパパカレッジ「おかいもの大作戦」 ~大切なお金のことを親子で学ぼう!~



見える化シート活用講座のお申込みはこちらから!

「家事・育児シェア」見える化シート活用講座 [検索](#)

福井ケーブルテレビ、ハピテラスモニター等で、「家事・育児シェア見える化」シートを活用したCM放映中!

【企業向け】

社員のやる気度UP! 仕事と家庭の両立応援講座
講師: 中野社会保険労務士事務所 代表 中野和信氏

- 6月28日(金) ジャパンポリマーク株式会社
- 7月31日(水) 横山電機株式会社
- 10月10日(木) 県内企業(26社)



【小学生向け】

- 9月5日(木) 順化小学校5年生
- 9月26日(木) 社西小学校5年生



<アンケート結果>

【夫婦・家族、企業向け】

- 夫婦で話し合っていくことが大切だと思った
- 家事・育児について考える時間ができ、有意義だった

【小学生向け】

- お母さんがたくさん家事をしていることがわかったので、少しでもお母さんの仕事を減らしたい
- 家族みんなで少しでも家事ができるようになってよかった

小中学校での活用

「夢への招待状」を市内の小中学校に配布し、道徳や総合的な学習等の授業で活用しています。また、キャリア教育と連携し、性別に関わらず、個性や能力を生かした職業観の醸成や、自分らしい生き方の発見につなげています。

いろいろな仕事をする人の想いや夢について、知ることができたんだね。

うん! 働くことや夢をかなえるために大切なことを話したよ。



女と男の今昔ものがたり

今は昔、昭和、平成の御代に男も女もあまたありて…なんてね。今昔物語だからってこんな始まりじゃなくても良いのですが(笑)、元号も変わりましたので少し振り返りをしてみたいと思います。今は昔、国際連合が女性差別を撤廃しようと昭和50年を「国際婦人年」と決めました。その頃からの話を“アイアム”初代編集委員長の辻きぬさんにお伺いしました。

“アイアム”初代編集委員長
辻きぬ氏

一の巻

昭和、平成と長きにわたって男女共同参画に関わってこられました、編集委員 そのきっかけや“アイアム”発刊以前のことをお話しただけですか？

辻氏 栃木で生まれ育って教員をしていました。尊敬する兄の薦めもあって、青年団の活動に参加しましたが、そこで知り合った人と結婚し、福井へ来ました(53年)。青年団の活動は日本の民主化や社会教育に役立ったと言えますし、私自身も全国的視野を身につけられたと思います。福井へ来てからは、福井県農協中央会で農村生活指導を担当し、農繁期における共同炊事や託児所設置などに尽力しました。それが全県的な保育所づくり運動に広がり、現在の待機児童ゼロ、学童保育の充実につながったと自負しています。やがて市勤労婦人センターが開館(54年)してその運営委員となり、女性問題の歴史を担当しました。ここでは20年間に85万人が学び、地域のリーダーとして巣立っていきました。

昭和60年に「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」が制定され、国として法や制度が徐々に進められました。男女雇用機会均等法もこの時です。



平成元年、福井市は「福井女性元年」を宣言しました。

福井市の市制100周年でもあり、「婦人担当室」が設置されて、それがその後の“アイアム”の創刊、「福井女性ネットワーク」(現:福井男女共同参画ネットワーク)設立に結びついていきました。

二の巻

“アイアム”の編集で思い出深いことはありますか？

辻氏 ある女性を取材しましたが、その方の結婚の際、いわゆる“婿取り”だったので男性の親に抵抗があり、なかなかまとまりませんでした。そこで両方の親に集ってもらい十分な話し合いをして、「両性の合意に基づく結婚」に至りました。そして、会費制の結婚お祝い会を公民館で開催し、その後市内の公民館に広がったことです。

福井女性ネットワークのほうはいかがでしたか？

辻氏 とにかく活動拠点が欲しかった。事務局を置けるようなね。各地へ視察に出かけ、市へ要望もしました。それから職場の女性問題を語る集いも開催しました。働きながら子育てするには、家族と企業両方の協力が必要です。

平成10年、福井市は北陸初・全国14番目となる「男女共同参画都市宣言」を制定しました。

三の巻

福井市は取り組みが早かっただけでなく、平成6年～9年の4年間かけて開催された「男女でつくる地域推進フォーラム」で4千人の市民が話し合った結果を反映して宣言文を作り上げました。その後同様な宣言は各地で制定されましたが、定型の雛形から作られたものも多く、市民と行政がタイアップして作られた福井市の宣言文は全国に誇れるものだと思います。またフォーラムのときの公民館の協力はとても有難かったです。場の提供だけでなく、話し合った内容の取りまとめに大きな力添えを頂きました。

また、女性模擬議会を開催しました。作文審査で選ばれた38人の女性が議会の仕組みを学び、本番さながらに質問しました。女性に政治への興味を持ってもらうのが目的でしたが、残念ながら今も女性議員の数は少ないです。それに、このころでも町内で出される香典の金額に男女差があるなど、実際の生活には男女差別の風習がまだ多く残っていました。

平成12年度から男女共同参画室に少子化対策センターも付け加えられました。子育て情報誌“ほっと”も刊行されています。

子育て支援により力を入れる必要性が高まって来たのでしょうか。



平成19年に“アオッサ”がオープンし「男女共同参画・子ども家庭センター」が新設されました。平成の初めから求めていた“男女共同参画ネットワーク”の拠点がようやく出来上がったのです。

四の巻

最近の男女共同参画に関する状況をどのように見ていらっしゃいますか？

辻氏 法律や制度は整備されてきていますが、意識改革にはまだ少し時間がかかるようです。買い物やゴミ出しする男性は多く見かけるようになりました(笑)。若い人の家庭ではかなり男女共同の意識が根付いているのですが、地域の町内会などはまだまだ。相変わらず男性中心で、たまに女性が出ていても、あまり発言しない。会社で働いてきた人は会議の進め方が上手だったりもしますから、女性も積極的に役割を担ってほしいです。女性の自治会長(H30年度5.6%)もまだまだ少ないです。

それに企業もこれからという感じです。ようやく最近では会社での講演会を受け入れてくれるようになりましたが、社内に浸透するには時間がかかるでしょう。地域や企業、学校と行政が連携して進めてほしいです。

“カジダン”“イクメン”という言葉が流行る現代、家庭での“オトコ”は少しずつかわってきましたが、一歩家から出るとまだまだ。今後も益々のご活躍をお願いします。本日はありがとうございました。



幸せパーソンみつけた!

男性育児休業取得 家事も育児も! 加藤英行さん

令和初の幸せパーソンは福井市自然史博物館学芸員の加藤さんです。加藤さんは現在0歳児、1歳児のパパ。パートナーの絢さんが1人目を出産後半年間、2人目の時には3ヶ月間の育児休業を取得されました。



Q 育児休業取得を希望されたのはどちらからですか?

A 僕からです。2人共県外出身で頼る先もなく、出産を前に不安が募っている妻を支えたい一心で…妻は妊娠を機に仕事を辞めていたので収入面など心配もあったようですが…



Q 取得されてみていかがですか?

A 本当によかったと思います。少しでも妻のサポートができたり、何より子どもの貴重な成長を感じられて。家事も育児も、想像を絶する大変さだということがよくわかりました。眠れないのは、やはりつらいですね! (苦笑)



Q 職場復帰に不安はありませんか?

A 不安はありません。定期的に職場と連絡を取っていますし、職場のみんながサポートし、助けてくれるのがとてもありがたいです。



お互いのことを思いやり、感謝し合える幸せそうなお夫婦でした。職場の方々の理解も大きな力になっているようです。こんな幸せの輪が人から会社から、たくさん広がるといいなと思いました。

おすすめ DVD

箱入り息子の恋

『箱入り息子の恋』
ファーストラブ・エディション
発売・販売元: ポニーキャニオン
価格: Blu-ray ¥5,700 (本体) + 税、
DVD ¥4,700 (本体) + 税
©2013「箱入り息子の恋」製作委員会



あまのしずく
珍しい苗字の天竺健太郎(星野源)は、市役所に勤務する35歳。友人も恋人もなく、職場と自宅を往復するだけの日々。

そんな健太郎を心配した両親は、息子の写真を持ち、親同士の代理見合いをします。本人同士の見合い本番の日、健太郎は相手の女性、今井奈穂子(夏帆)が、雨の日に傘を貸した女性だったことを知り一目惚れします。奈穂子が盲目であることはこの日初めてわかりました。ところが、奈穂子の父は、健太郎が出世欲のないつまらない人間だと非難し、見合いは決裂してしまいます。しかし、当の二人はお互いにひかれあい何度かデートを重ねます。

あるデートの日、健太郎は、車から奈穂子を守って車にはねられケガをしてしまいます。障害者と生活する難しさを健太郎は実感しますが、それでもめげずに、奈穂子の部屋に忍びこみます。二人で愛を確かめた直後父親に見つかり、二階から落下し再び入院。そして点字の手紙を奈穂子に送り、奈穂子も幸せをかみしめるのでした。

親同士の代理見合いというのが、いかにも現代らしい気がしますが、出会いは大切です。某有名落語家も59歳で結婚して話題になりました。適齢期は年齢に関係なくやって来るみたいです。福井市女性活躍促進課でも、昨年8月に北陸初の、「親子のプレミアムお見合い会」を開催しました。子同志、親同志のお見合いの後、親子一緒でお見合いが行われました。果たして結果は?

私事ですが、昨夏腰を痛め歩くのもままならなくなり、夫が家事のほとんどをしました。今は、掃除機や食洗機など便利な家電が沢山ありますが、それでも夫の戦力はありがたかったです。

男女がお互いに助け合い、さまざまなことをサポートしあえば、どんな苦境も乗り越えられるはず。まず最初の一步を踏み出して、それぞれの愛を見つけて欲しいですね。

ワーキングママの子育てエッセイ Part12

息子が小学生になった。先輩ママ友から「小学校行くと大変だよ〜特に長期休み。」と聞かされていたが、息子も成長し、自分のことは自分でできるようになったし、「楽勝楽勝」と思っていた。我が家は夫婦とも県外出身で共働きのため、放課後は学童保育を利用することにした。年度末3月31日までは保育園に通い、4月1日からは学童保育に切り替え、息子の生活はガラッと変わった。同時に私と娘の生活もガラガラガラ〜と変わった。

今まで毎朝一緒に車の中でおしゃべりしながら登園していた娘は、突然お兄ちゃんがいなくなり、完全に登園ペースを崩した。息子は、保育園時代より1時間早く起きて集団登校。「早くして!」[〇時だよ!!]と小言が増えていった。小学校からくるお便りは毎日大量で文字が細かく、何が

書かれているか理解できない。さらに、毎日連絡帳にサインをし、宿題のチェックに翌日の準備、とにかく決まり事が多く、自宅での事務作業が増えた。

学童保育のお迎え時間は保育園より30分早い。職場を出る時間も早まった。息子を迎えに行き、その足で保育園のお迎え、帰宅する頃には19時を過ぎる。しかし、小学校からのお便りには「20時半には寝かせましょう」「毎日の家庭学習時間の目安は20分」と書かれている。

夕飯の準備をして食べさせ、風呂に入れて…大量のチェック資料をやっつけて…母が休む時間はどこにあるのだろうか。「毎日準備が大変」と思っていた保育園。直接、保育士さんに子どもの様子も聞けたし、疲れて迎えに行けば優しい言葉をかけてくれた。今は天国に思える。

今回紹介する落語は「ちはやふる」です。女子高校生が自分の好きな競技カールタの道にすすんで頑張っていく、男女共同参画にピッタリな漫画。主要な登場人物があわら市在住という設定で、映画化の際には足羽川の堤防の桜並木で撮影も行われ、劇中福井弁が飛び交っていました。ってDVDのコーナーじゃなかった!間違えちゃあいけません。落語ですよね。落語の「ちはやふる」は和歌の解釈のデタラメさが笑いどころ。

根問い物といわれるジャンルで、横丁の知ったかぶりの先生が和歌の内容を解説しますが、竜田川は相撲取りの名前で、千早太夫という花魁に惚れたとか、その女が落ちぶれて乞食となり、廃業後豆腐屋になった竜田川がおからを恵んでくれないから井戸に身を投げて死んでしまうなんて…。まあここまでいい加減でないにしても、私達も思い込みしたり、勘違いしていること、ある程度知っていてもきちんと説明しようとするとか出来なことです。男女共同参画に対しては誤解している方が多いと思います。啓発講座や書籍・パンフもたくさんあります。ちゃんと勉強すれば「男と女のどちらが上か?」と争うものでも、「男女が同じことをしなければいけない」ということでもないとご理解いただけるはず。お互いに協力して楽しくやっつけていこうというものです。家事などを出来るところから少しずつでよいと思えます。ぜひ『家事・育児シェア見える化シート』を活用して分担を話し合ってみてください!

はやおき専負な部の
さんぽんぽんぽんぽん
#017
福井の
アマチュア落語家
いしかわまゐる。

菊地流・魅力的人生のススメ ～仕事も家庭も一生懸命～

日時:6月16日(日)
講師:菊地 幸夫氏(弁護士)
主催:福井市・福井県金融広報委員会

「男性の意識の改革、それなしには男女共同参画の実現は難しい」

ご自身が実際に受けた離婚相談の中から数例のエピソードを交えてユーモラスに語ってくれました。離婚トラブルの原因に多くある夫から妻へのモラルハラスメント。いつまでたっても妻を子ども扱い。「誰のおかげで飯を食えてると思ってるんだ!」離婚の際によく聞く言葉だと言う。初めて離婚の話をもとを弁護士を通して聞いた時には、とたんに男性はパニック、おろおろ状態。離婚調停中には、未練たらたらで妻をチラチラみる夫、一方下を向いたまま決して顔を上げようとしない妻。「そんなに大切な妻なら普段から大事にしていれば良かったんですよー。そうしていればあんな日はなかったのに・・・」

また、男性は年をとるにつれ、妻に依存する割合が多くなっているそうだ。そして、菊地氏は、夫婦別室を

試してみたい。成長した娘達が家を出て空いた部屋を妻の部屋にしてみたら、妻は独身時代の趣味を再開し楽しそう。菊地氏も自分の部屋で自由にすることができ、悪くない。

ある精神科医は、夫婦の相談には必ず「ヤマアラシのジレンマ」の話をすると言う。愛するからくっつき、トゲで傷つけ合う。そして離れるが寂しい。寂しいからまたくっつき傷つけ合う。傷つくから離れる。それを繰り返すうちにうまい距離感を見つけて暮らしましたとさ・・・

夫婦がより生き生きと支え合いながら暮らしていくためには、お互いの良い距離感を見つけることが、大事なキーポイントになりそうだ。



パートナーからの暴力ホットライン

夫婦や恋人などからの**身体的暴力・精神的暴力・経済的暴力・社会的暴力・性的暴力・子どもを巻き添えにした暴力**に対し、下記機関があなたを支援します。

福井市ひとり親家庭就業・自立支援センター	福井市大手3-10-1	0776-20-5140	月曜日～金曜日 (毎週火曜日、祝日・年末年始を除く)	9:00～17:00	
配偶者暴力被害者支援センター	福井県生活学習館 (ユウ・アイふくい)	福井市下六条町14-1	0776-41-7111 0776-41-7112	火曜日～日曜日 (第3日曜日、祝日の翌日、年末年始を除く)	9:00～16:45
	福井県総合福祉相談所	福井市光陽2-3-36	0776-24-6261	月曜日～金曜日 毎日	8:30～17:15 17:15～22:00
	福井健康福祉センター	福井市西木田2-8-8	0776-36-2857	月曜日～金曜日 (祝日・年末年始を除く)	8:30～17:15
福井県警察本部	性犯罪被害相談電話	福井市大手3-17-1	#8103または 0120-292-170 0776-29-2110	毎日	24時間対応
	警察安全相談室	福井市大手3-17-1	#9110または 0776-26-9110	毎日	24時間対応
福井地方法務局 女性の人権ホットライン	福井市春山1-1-54 (福井春山合同庁舎)	0570-070-810 (一部のIP電話からはつながりません)	月曜日～金曜日 (祝日・年末年始を除く)	8:30～17:15	
福井県人権センター	福井市手寄1-4-1 (アオッサ7階)	0776-29-2111	火曜日～金曜日 第2・4日曜日と その前日の土曜日 (祝日・年末年始を除く)	9:00～17:00	
公益社団法人 福井被害者支援センター	福井市宝永3-8-1	0120-783-892	月曜日～金曜日 (祝日・年末年始を除く)	10:00～16:00	
男性DV電話相談 (DV被害を受けている男性のための相談専用電話)	福井県	080-8690-0287	毎月第2土曜日	9:00～16:00	
DV相談ナビ (配偶者等からの暴力被害者相談窓口)	内閣府 男女共同参画局	0570-0-55210 (一部のIP電話からはつながりません)	最寄りの相談窓口 に自動転送します	各機関の相談 受付時間	
福井市苦情処理委員会 (福井市女性活躍促進課内)	福井市手寄1-4-1 (アオッサ5階)	0776-20-5353	月曜日～金曜日 (祝日・年末年始を除く)	8:45～17:30	

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」(DV防止法)があなたを守ります。

編集後記

新元号になり記念すべき第1号が発行されました。我が家は保育料が無料になり、新時代を感じています。先日、飲食店で4歳の娘に「杏仁豆腐食べたい!」とせがまれ「ええ～高いな…」と渋っていたら「もうすぐ保育園タダになるんでしょ!」と押し切られました。新時代を生きる我が家の女子、しっかり者です。(栗原)

企画・編集/アイアム編集委員

栗原 知子 児玉 定美
末吉 珠美 鶴谷 恵実
廣瀬 静子 (50音順)